



# 専教寺報

浄土真宗本願寺派 一乗山 専教寺  
〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛2033  
TEL.0866-82-0488  
URL.https://www.senkyoji.com/  
E-Mail.senkyoji@senkyoji.com

題字 大橋曾水



## 重さ

住職 釋龍生

今年、息子が小学校に入学する。当然、息子を取り巻く環境は、慣れた色合いから新しく別の色で一面塗り替えられるキャンパスのように一変する。新年度をきっかけに学校はもちろんのこと、スポーツ少年団、習い事など、新しい世界に飛び込んでゆく。スポーツ少年団には、友達からの誘いもあって、すでに二月から参加させてもらっている。目の前に開かれる新たな環境に包まれていく息子の様子を見てみると、これからの人生にどんな喜びが

訪れ、どんな悩みを抱えながら、どんな大人に成長していくのか、という想いを馳せる。しかし、どんな環境に身を置こうと、親の想いはただ一つ。何であれ、病気せず、無理せず、ただただ元気に育てほしい。

詩人だった杉山平一さんの詩に、「重さ」という詩がある。

びったりの重さというものがある。

少しの荷物を持つ方が快いときがあるのだ。手ぶらや、はだかでは浮くよう取りつくしまがない。

足が地につくようこの悩みと悲しみを、私は大切に持って歩く。

私たちは、誰もが人生を歩んでいく途上で、

さまざま喜びや苦しみ、悩みが、生まれてはいつの間にか消え、消えたかと思えば、また新たに生まれて、そのデコボコした繰り返しの生を全うしていく。その私たちの悩みに支配されるゆえに、自己中心的に、不器用にしか生きられない姿を、親鸞聖人（以下、宗祖）は、煩惱具足の凡夫と呼んだ。煩惱から逃れることができない私たち生きとし生けるものは、生理的に貫く本質として、なかなか仏法を受け入れる

ことができない。そもそも

も仏法嫌いであるから、

浄土真宗のみ教えを聞く

ことや、お念仏いただく

心が起こらないのである。

宗祖が、アミダさまの

おはたらきを讃えるご和

讃「浄土和讃」の、「撰

取してすてざれば」の句

の左側に、

取るなり

アミダさまの救いのおは

たらきは、生きとし生け

るもの全てに例外なく届

いている。その救いのお

はたらきが届いているこ

とに気付かないのが、煩

悩の支配する私たちの姿

である。アミダさまは、

私たちに常に届けてくだ

さっている救いのおはた

らき（お念仏）をいただ

くよう、果ては仏さまに

仕上げるよう、常に願っ

てくださっている。私は、

その放たれる渾身のおは

たらき、私たちを救いの

目的として処される南無

阿弥陀仏のお名号に、心

から感謝して、不器用な

ていきたい。

しかし、アミダさまの

世界をお経でしか知らな

い煩惱具足の凡夫の身と

しては、現実として、杉

山さんの詩のように、煩

悩という荷物を抱えて生

きていく方が、地に足が

ついて生き心地は良いの

かも知れないのかな、と

もある。



## 除夜会

令和6年12月31日（火）

# 専教寺の本棚より

坊守 佐々木ひろみ

「わあ、おいしそう!」「食べたい!」「作りたい!」と思わず言ってしまうような絵本が、専教寺の本棚に追加されました。絵本の題名は、

『たべものあいうえおのえほん』、  
『カレーライスだいすき』、  
『ハンバーグだいすき』、  
『オムライスだいすき』  
(※)です。

以前から、寺報では、この専教寺の本棚にある絵本の紹介をしてきました。本堂にあるこの本棚には、いろいろ

な絵本が少しずつ増えてきた。

できていますので、法事でお参りした子どもたちを中心に、大人の方も手に取ってくださる姿をよく見るようになりました。そして、この度、すらっと並べられた食べ物シリーズですが、文は、苅田澄子さん、絵は、いわさきまゆこさんです。絵を描いておられる

い わ さ き ま ゆ こ さ ん は、専教寺のある矢掛の方なのです。それを聞いたときは、「えっ!」と驚き、とてもうれしくなりました。さらに、開いて読んでみると、とても好きになりました。

とくっついてしまう感じ

ハンバーグが大好物の息子に、『ハンバーグだいすき』を読み聞かせしました。まず、表紙で、「おいしそうだね。これ、写真でしょ?」と、リアルな絵を写真と思い込んで

ようです。中を開けてみるとまた、「ほらね、のぐらい、食材の魅力が存分に表され、どんな料理本よりも、「そうそう、そんな風になるよね」と思わせてくれる工程が丁寧に描かれています。例えば、ハンバーグを丸めるときに、手にネバッ

では、卵を包むときに、卵が少し破れてしまうところまでも描かれています。読み終えると、息子と「今度、いっしょに作ってみようか。」という話になりました。絵本を読むことで、

何だかほっと癒やされたり、親子の和やかな会話になったりすればいいなと思います。専教寺本堂にお参りされた際には、ぜひ、手に取っていただけたらと思います。

※『たべものあいうえおのえほん』(二〇一三年)

『カレーライスだいすき』(二〇一四年)

『ハンバーグだいすき』(二〇一五年)

『オムライスだいすき』(二〇一五年)

いずれも文・苅田澄子、絵・いわさきまゆこ

金の星社



たべもの あいうえおのえほん  
 苅田澄子 文/いわさきまゆこ 絵  
 金の星社



カレーライスだいすき  
 苅田澄子 文/いわさきまゆこ 絵  
 金の星社



ハンバーグだいすき  
 苅田澄子 文/いわさきまゆこ 絵  
 金の星社



オムライスだいすき  
 苅田澄子 文/いわさきまゆこ 絵  
 金の星社

いわさきまゆこ先生の絵本です。  
 ぜひ、書店などで手に取ってご覧ください。



**元旦会** 令和7年1月1日(水)

# 「お彼岸」を迎えて

衆徒 佐々木龍三

三月に「お彼岸」がありましたね。「彼岸」とは、どういう意味でしょうか？

「彼岸」とは、阿弥陀さまのお浄土のことです。阿弥陀経に「ここから西の方へ十万億もの仏がたの国々を過ぎたところに、極楽と名づけられる世界がある」と説かれ、西の方角に阿弥陀さまのお浄土があると示されています。

浄土真宗は、お念仏を申す日暮しの中、この世の命を終えるとき、阿弥陀さまのおはたらきのお

かげで、お浄土に生まれ、仏にならせていただくという教えです。

お浄土で仏になられた方々は、何をされているのでしょうか？親鸞聖人の正信偈に「阿弥陀仏の浄土に往生すれば、ただちに真如をさとした身となり、さらに迷いの世界に還り、神通力をあらわして自在に衆生を救うことができます」とあります。仏になられた方々は、お浄土でゆっくり休んでいるのではなく、お浄土からこの世に来て、いつも縁ある人に寄り添い、導いてくださっているんですね。

「お彼岸」には、お日 さらに、阿弥陀経には、

さまが真西に沈んでいき お浄土は「俱会一処」の  
ます。私たちのために阿 世界とあります。仏にな  
弥陀さまが用意してくだ られた方々と俱に一つの  
さった西方極楽浄土を想 処で会うことができる世  
いつつ、亡くなられた大 界。私もいずれ、同じお  
切な方々を偲ばせていた 浄土で仏として生まれ、  
だくとともに、私のいの お互い仏として再会でき  
ちは、阿弥陀さまがいつ る世界であると説かれて  
も願ってくださり、仏に います。

この半年の間、複数の  
なられた方々が導いてく 知り合いとの別離があり  
ださっている尊いいのち ました。  
であると感じさせていた 亡くなられた方はどこ



にいったのか、それに答 える世界があります。阿  
弥陀さまのお浄土の仏に なられたんだ。私が死ん  
だらどこに行くのか。阿 弥陀さまのお浄土に生ま

れて、仏にならせていた  
だくんた。

浄土真宗のみ教えは、  
一生涯を精一杯生き抜い  
た方が、この世の命を終  
えるとき、死んでおしま

いではなく、お浄土に生  
まれ、仏として歩みを始  
められると受け止めて、

敬いの心でお見送りをす  
ればいいと教えてくださ  
います。別離の悲しみは

尽きることはありません  
が、手を合わせてお念仏  
するとともに、大切な方々

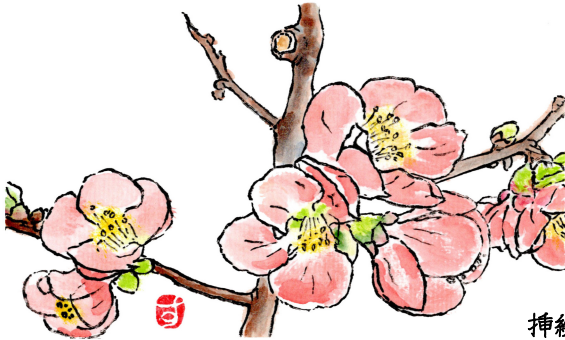
と会える世界がある、大  
切な方々に導かれながら

生きる世界が恵まれる、  
そして、同じお浄土で仏

として再会できる、その  
ような浄土真宗のみ教え

に出遇えたことを有  
り難く思います。

「さようなら」では  
なく、「また会おう  
ね」なんですね。



挿絵 内村 壽美子

### 4月27日に、当山では永代経法要をお勤めいたします

今年の永代経法要は4月27日（日）です。ぜひお参りいただき、ともに「阿弥陀経」をご唱和して、仏さまになられた先達のご縁に遇わせていただくと同時に、お念仏のみ教えをいただく私達が、社会をともに生きる上で本当に大事なことは何なのか、考える機縁にさせていただけたらと思います。（今年度も、日程を短縮して、午後にお勤めいたします）

このたびのこのご縁は 初事と思うべし      このたびのこのご縁は 我一人の為と思うべし  
このたびのこのご縁は 今生最後と思うべし

## 報恩講

令和6年11月24日（日）





臥龍松保存のための寄付をお願いします

臥龍松を維持管理するには  
たくさんのお金がかかります。  
矢掛町の重要文化財の保存に  
ぜひともご協力下さい。

一口1,000円から受付けています。  
1,000円ご寄付の方には臥龍松のポストカード  
をプレゼント。お寺にご連絡下さい。



※この寄付はあくまで任意です。

## 専教寺からのお知らせ

### 仏教讃歌

4月8日（火）午後1時30分～

### 永代経法要

4月27日（日）正午～（午前11時30分～受付）

講師：広島県三原市・浄楽寺 栗原 一乗 師

